

大切なご家族のため、また何より、ご自身の人生を充実させるため、お役に立てる情報をお届けいたします。終活・相続に詳しい豊前の弁護士といえば西村だ！と思い出していただけよう頑張ります！

目次

- P1 ◆プライベートのひとこま
- P2 ◆レビュー
- P3 ◆終活に関する名言・格言いろいろ～11～
- P4 ◆エンディングノートおためしワーク
- P5 ◆終活お話会について
- P6 ◆お知らせ



プライベートのひとこま

9月といえど、まだまだ油断のならない暑さですね。

今年も、さまざまな夏祭りに参加させていただきました。どのお祭りも活気があって、いろいろな世代の方の笑顔が印象的です。

昔と今のお祭りを比べると、キッチンカーの数や種類が増えたように思います。乗り物好きの息子たちも大喜びです。

一方で、射的やヨーヨー釣り、りんご飴や綿菓子など、昔から変わらないものも多くありますね。みなさまは、どんな夏祭りの思い出をお持ちでしょうか。

以前お邪魔した夏祭りでは、「こうするんだよ」と金魚のすくい方を見せてくださった方がとてもお上手で、とても驚いた記憶があります。70代くらいかなとお見受けしましたが、手の動きに迷いが無く、ささっとお椀に金魚を入れる様子に、子どもたちも感動しておりました。親である私たちでは教えられないことを、教えていただきました。



レビュー【本日は、お日柄もよく】

最近、ビジネス書ばかり読んでいて、小説を読まなくなっていました。

細切れの時間で読みにくい、話がとんでしまうこともあって、なかなか日々読みこなすことができません。

そんななかでも、以前から読んでみたかった一冊です。



出版は2010年と、約15年前の小説です。

スピーチライターにまつわるお話。結婚式のスピーチに始まり、企業商品のキャッチ、果ては選挙戦のスピーチに至るまで、言葉の力にける登場人物たちが奮闘する様が描かれています。

私が選んだ弁護士という仕事は、人類最大の発明というべき「言葉」の力で人を救う仕事です。

最近、われわれが扱うサービスを正しくお客様にお伝えし、お客様への貢献のパイを広げるべく、実はセールスの勉強もしております。どのような言葉で、どんな想いを伝えるかということの難しさを、ひしひしと感じているところです。



業種は違えど、「言葉」を駆使して行う仕事。本書は、言葉の力を十二分に感じられ、それでいてエンタメとしても面白いのは、著者である原田マハ先生のお力を感じます。

私がいま行っていることを考えるうえでも、とても大きな示唆のある一作でした。

印象的だったのは「CHANGE」は少し変えると「CHANCE」！つまり、変化はチャンス！ということ。うまいこと言うもんだと、思わず膝を叩いてしまいました。

変化というものは、驚きやストレスを感じることもありますが、それことチャンスだと捉えて、一生懸命頑張ってまいります。

終活に関する名言・格言いろいろ～11～

黒澤明さん（1910年3月23日～1998年9月6日）

言わずと知れた、日本の名映画監督。弊所のセミナーでも、名言をご紹介したことがあります。

映画を撮るということは、人間の人生を見つめることにも繋がると思います。なぜならば、こんなに心が揺さぶられる作品を撮っておられるのですから。

人間は弱いものだからね。
平穩無事に生きている時は
大して良い考えなんか出てこないのさ。
ここを踏み外したら真っ逆さまだぞと追い詰まった時、
やっそこさっそこ頭がフル回転し始める。



生きているのは苦しいとかなんとか言うけれど、
それは人間の気取りでね。
正直、生きているのはいいものだよ。とても面白い。



自分の与えられた人生、
何もかも潔く責任をとるしかないんだ。
本当に優しいというのは、そういう強さだと思うね。

黒澤明さんが映画監督として活躍し始めた時代は、まさに第二次世界大戦のさなかでした。フィルムの配給制限や検閲など、さまざまな壁が立ちふさがったことでしょう。

それでも映画への情熱を絶やさず、数々の名作を創り上げてきたエネルギーというものは、本当に素晴らしいと思います。

また、戒名には「映」の字が入れています。まさに！という字で、とても印象的です。では自分なら？と人生を振り返って考えてみるのも、よい時間になるのではないのでしょうか。

エンディングノートの意義と活用術 ～ 13 ～

毎月開催している「終活お話し会」では、エンディングノートの1ページを一緒に書きましょう！というワークを行っています。

無料で、2つ穴ファイルをプレゼントしていますので、1ページずつ書き溜めていただくと、エンディングノート（ファイル）ができる、という仕組みにしております。

最近では書店でも様々なエンディングノートが並んでいますが、やはり一冊まるまる書き上げるのはなかなかの労力が要ります。

そこで、1ページずつ一緒に出会っていくことで、ひとつひとつの視点ごとに人生と向き合っていく機会になるのでは、という趣旨です。

よろしければ、ここで少し書き込んでみませんか？

テーマは、「心に残る音楽」です (*^^*)



〈思い出の一曲〉

◆曲名： _____

思い出： _____

〈あの人を思い出す この一曲〉

◆お名前： _____

◆思い出： _____

〈大切な人に聴いてほしい この一曲〉

◆お名前： _____

◆曲名： _____

◆聴いてほしい理由： _____

ありがとうございました！

音楽は本当に、心に響きますね。私も何度救われたことか…。いつか、音楽をテーマに終活お話し会ができれば素敵だなと思います♪

終活お話会

あたたかい雰囲気の中、毎回異なるテーマで終活と向き合っていきます。

終活は、人生のはなし。

元気な今だからこそ、人生を振り返って、そのうえで今からをどう生きるか。

私たちと一緒に、お話ししませんか。

お話会での学びや、参加者様どうしのご縁の中で、あらたな気づきがあるかもしれません。

ぜひ、大切なご家族やお友達と一緒に、お気軽にお越しください！

毎月開催いたしますので、今回は日程が合わないという場合も、次回のご参加を心よりお待ちしております。



次回の終活お話会は…

- テーマ：笑顔が生まれる遺影撮影！？ 
プロカメラマン、小笠原一吉さんをお招きして、遺影撮影会を開催します！
- ミニセミナーテーマ：リクエストにお答えします！
弁護士に直接質問ができるチャンスです！些細なことでもお尋ねください♪
- エンディングノートを書いてみるワーク
毎回1ページずつ、一緒に書いてみましょう！

- ・ 9月20日（土）14：30～16：30
- ・ 豊前市総合福祉センター 視聴覚室
- ・ ご参加無料 / ご予約不要



※お車は、ヤルディ豊前の前か、総合福祉センター裏へお停めくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ：080-3948-9102（西村愛）

お知らせ

西村幸太郎・西村愛が理事を務める、一般社団法人 100 年時代支援機構。
この団体は、令和 7 年 7 月に新たに設立された、人生 100 年時代を“自分らしく生き、笑顔で終える”人を増やすために、終活に関する知識と行動の機会を届ける全国型コミュニティです。

その記念すべき第 1 回イベントがオンラインにて開催されます！

9月17日19:00~21:00
スターバックスジャパン
創業メンバーが語る
スタバから遺言へ
～時代を作った男の新しい挑戦

特別ゲストによる講演会

本郷笑み子
ファンリテーター

長谷雄蓮華
100年時代支援機構 理事
大法寺住職・ラン和尚

賀集一弥
100年時代支援機構
代表理事

100年時代支援機構

遺言net

箕口一実
元スターバックスジャパン
執行役本部長
遺言ネット代表

元スターバックスジャパンの創業メンバーであり、現在は遺言ネットの代表である箕口一実氏をゲストにお迎えします！

また、100年時代支援機構代表の賀集一弥氏から、団体設立にあたっての想いや、内容の説明がございました。

そして100年時代支援機構の理事であり、大法寺のご住職でおられる長谷雄蓮華氏による、「ぶっちゃけ寺院～異端児住職達の限界トーク～」コーナーという構成になっております。

日時は9月17日（水）19：00～21：00、オンラインにて開催です。

ご参加は無料になっておりますが、右のQRコードからお申し込みをお願いいたします。

気になること、ご不明な点などがございましたら、弊社までお気軽にお問い合わせください！



発行元 豊前総合法律事務所

〒828-0028

豊前市青豊19-14スペースI

TEL：0979-53-9106

FAX：0979-53-9107

開所時間：平日9時～18時

相続専門ホームページ

